

避難行動要支援者名簿

について

長崎市では、災害時又は災害が発生する恐れがある場合の避難の支援、安否の確認などの避難支援体制を強化するため、「避難行動要支援者」の名簿作成と提供を行います。

これは、災害対策基本法の改正（平成26年4月1日施行）により市町へ義務化されたものです。

1 対象となるかたは？

避難行動要支援者とは、災害時に避難所まで自力で避難することができないかたをいいます。長崎市では、下記のいずれかに該当するかたを避難行動要支援者として定めています。

- ① 要介護1以上のかた
- ② 身体障害者手帳1級または2級、療育手帳A1またはA2
精神障害者保健福祉手帳1級
- ③ 特定疾患医療受給者
- ④ 乳幼児・妊産婦
- ⑤ その他、市長が認めるもの

2 名簿の内容は？

市で管理している住民基本台帳をもとに、対象となるかたの下記の情報を載せた名簿を作成します。

- ① 氏名、② 生年月日、③ 性別、④ 住所、⑤ 電話番号、⑥ 緊急連絡先、
⑦ 避難支援等を必要とする事由（要介護度、障害者、難病など）

3 名簿はどうやって活用されるの？

避難行動要支援者の方々が、災害時の避難等、可能な限り地域で支援が受けられるよう、提供に同意をされた方の名簿を、平常時から下記の方々へ提供します。

【避難支援等関係者】 消防局、自治会、民生委員・児童委員、警察、地域包括支援センター

平常時に情報提供する名簿については、同意されたかたの名簿のみとなりますが、災害発生時または発生のおそれがある場合は、命を守ることを最優先とし不同意の方の名簿も関係機関へ情報提供することがあります。

※ ただし、必ずしも災害時の支援が約束されるものではありません。